

一宮市立市民病院 糖尿病・内分泌内科に
通院中または過去に通院された患者さんまたはご家族の方へ
当科における臨床研究についてお知らせいたします

2026 年 9月11日

「橋本病患者における HLA-DRB1 アリルとレボチロキシン補充要否との関連に関する後ろ向き観察研究」に関する臨床研究を実施しております。

愛知県立大学および一宮市立市民病院研究倫理審査委員会の審査・承認を得て実施する予定です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	
研究課題名	橋本病患者における HLA-DRB1 アリルとレボチロキシン補充要否との関連に関する後ろ向き観察研究
所属（診療科等）	一宮市立市民病院糖尿病・内分泌内科
研究責任者（職名）	片平 正人（愛知県立大学看護学部・教授）
研究実施期間	2026 年 9月11日 ～2029 年 12 月 31 日
研究の意義・目的	橋本病の患者さんには、甲状腺ホルモン薬（レボチロキシン）の補充が必要な方と、長期間必要とならない方がいます。本研究では、白血球の型（HLA）と病気の経過との関連を調べることで、将来の治療や経過観察の改善に役立てることを目的としています。
対象となる患者さん	2011 年 1 月から 2020 年 12 月までに一宮市立市民病院 糖尿病・内分泌内科外来を受診された橋本病の患者さんで、既に HLA 検査を受けている方。
利用するカルテ情報	診療録（カルテ）情報（年齢、性別、甲状腺機能、抗体、治療内容など）、既に実施された HLA 検査の結果。 ※本研究のために新たな検査や採血は行いません。
研究方法	診療録情報および既存の HLA 検査結果を用いて、甲状腺ホルモン補充が必要となるかどうかとの関連を統計学的に解析します。
問い合わせ先	研究責任者：片平 正人（愛知県立大学看護学部・教授） 電話：052-778-7130（研究室直通） E-mail: katahira@nrs.aichi-pu.ac.jp 研究分担者：恒川 卓（一宮市立市民病院糖尿病・内分泌内科・部長） 電話：0586-71-1911（代表）

既存の臨床記録（カルテ情報）、検査結果を研究・調査・集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

カルテ情報を研究に利用させていただきます。

利用する情報からは、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。

研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

この研究に御自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問合せ先までご連絡下さいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。2029 年 3 月末までに研究者に口頭、文書または電子メールでその旨をお伝え下されば、分析の対象から除外させていただきます。